

農業委員会だより

第85号
 令和2(2020)年
 10月1日発行
 <編集・発行>
大田原市農業委員会
 大田原市本町1-4-1
 TEL.0287-23-8716

E-mail/nougyou@city.ohatawara.tochigi.jp



大田原市農業委員会
 会長 荒井 一夫
 『就任のあいさつ』

このたび、農業委員会等に関する法律が改正されて2度目となる改選が行われ、7月20日に津久井市長より大田原市農業委員17名が任命され、各委員のご推薦により第24期大田原市農業委員会会長に就任いたしました。

また、同日、農地利用最適化推進委員43名を委嘱し、総勢60名による新しい大田原市農業委員会体制が始まりました。今回の改選では、農業委員17名のうちの8名、農地利用最適化推進委員43名のうち22名が新たに委員となり、これから3年間、ともに、地域で活動してまいります。

私たちは、日ごろより農地利用に気を配り、農業者の皆さまの意向を確認しながら、耕作放棄地の発生防止・解消、担い手への農地利用の集積・集約化の推進、さらに若い担い手の確保や新規参入の促進、女性の農業社会への参画を後押ししていきたいと考えております。

折しも、今年「コロナ禍」の状況により、会議や活動が制限されている状況ではありますが、「人・農地プラン」の実質化を進めていくことが求められております。「人・農地プランの実質化」とは、地域の高齢化や農業の担い手不足が心配される中、5年後、10年後に「地域の農地を誰が担っていくのか」「誰に農地を集積・集約化していくのか」を地域の農業者が話し合って、将来方針を決めていくことです。この中で農業委員、農地利用最適化推進委員は農政課とともに話し合いを主導していく役割を担うこととなっております。農業者の皆様には、地域農業の将来方針を決める重要な話し合いであるとの認識のもと、積極的にご参加いただきたくお願いいたします。

終わりに、私たち農業委員及び農地利用最適化推進委員一同は、大田原市の農政・農業推進の一翼を担う者として、本市の農業発展のため努力してまいりますので、ご指導・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

大田原市農業委員会新体制へ!

任期満了に伴う改選により、7月20日に津久井市長から新たに大田原市農業委員17名が任命されました。同日、改選後初の総会が行われ、会長に荒井一夫委員、会長職務代理者に鈴木賢一委員が就任しました。

また、農地利用最適化推進委員43名を委嘱し、総勢60名の新しい体制による大田原市農業委員会がスタートしました。



▲農業委員辞令交付式 農業委員(手前)と津久井市長(中央奥)



▲農地利用最適化推進委員委嘱状交付式

第24期 大田原市農業委員

第2期 大田原市農地利用最適化推進委員の紹介

任期は令和5年7月19日までの3年間です。

○農業委員(17名)

会長 荒井 一夫
 会長職務代理者 鈴木 賢一

議席番号・氏名(住所)の
 順で表記

- 1 津久井勝之(上奥沢)
- 2 笹沼 保治(河原)
- 3 秋本 則夫(蛭畑)
- 4 瀧田 歌子(南金丸)
- 5 佐藤 孝(美原)
- 6 唐橋 洋子(上石上)
- 7 助川 悦夫(小滝)
- 8 阿見 芳(北滝)
- 9 高瀬 隆至(佐久山)
- 10 郡司 裕一(佐良土)
- 11 屋代 幸子(須賀川)
- 12 森 隆道(実取)
- 13 荒井 一夫(富池)
- 14 越沼 良(末広)
- 15 鈴木 賢一(松木沢)
- 16 相馬 和恵(実取)
- 17 木村 光一(湯津上)

○農地利用最適化推進委員(43名)

委員長 渡邊 政義
 副委員長 大森 清五

氏名(住所)の順で表記
 ◎は地区代表

- 大田原地区
- ・齋藤 信雄(若草)
 - ◎磯 利男(紫塚)
 - ・木下 伸一(浅香)
- 金田地区
- ・阿久津 功(中田原)
 - ・小針 貞夫(戸野内)
 - ・吉際 昇(練貫)
 - ・松本 光正(羽田)
 - ◎佐藤 貞男(北金丸)
 - ・藤田 一義(南金丸)
 - ・熊田 幸雄(上奥沢)

引地 卓人(鹿畑)

親園地区

・森 浩一(実取)

◎福原 善広(親園)

・藤田 正浩(花園)

・藤田 信一(宇田川)

野崎地区

・矢板 隆夫(下石上)

◎沼野井和夫(薄葉)

佐久山地区

・南須原輝夫(佐久山)

・八木澤 郁(佐久山)

◎関谷 弘(佐久山)

・菅野 清隆(福原)

・伊藤 健次(福原)

湯津上地区

・石井 俊雄(湯津上)

・市村 進(湯津上)

・川又 豊藏(佐良土)

◎吉成 一夫(蛭畑)

・渡邊 敏夫(蛭畑)

・伊藤 俊夫(新宿)

黒羽地区

・川上 充(北滝)

・小室 正善(堀之内)

◎川嶋 雅彦(北野上)

・田代 保(片田)

川西地区

◎渡邊 政義(黒羽向町)

・室井 佐稔(蜂巣)

・石井 久夫(寒井)

両郷地区

・石塚 聡(中野内)

・小河原 明(河原)

◎関谷 謙一(木佐美)

・益子 悟美(大久保)

◎大森 清五(大輪)

須賀川地区

・大塚 幾夫(須佐木)

◎菊池 義治(須賀川)

◎鈴木 正夫(南方)

令和2年度 第1回農業委員・農地利用最適化推進委員研修会に参加しました

去る8月4日、宇都宮市護国会館で、栃木県農業会議が主催する農業委員及び農地利用最適化推進委員の研修会が開催され、大田原市からは新任の農業委員4名と農地利用最適化推進委員15名が参加しました。

内容は、農業委員会組織の法的な位置づけや委員としての役割、農地法等の制度の目的や遊休農地対策、人・農地プランの実質化の取り組み等について、栃木県農業会議や栃木県農政部の職員から説明がありました。

参加していた屋代幸子委員からは、「委員としての役割など基礎的なことがわかりやすく説明され、今後職務に携わる上で大変参考になりました。また、私の住む須賀川地区は高齢化や過疎化が進んでおり、耕作放棄地、遊休農地対策については非常に勉強になりました。」との声が聞かれました。



▲熱心に講義を受ける委員



令和元年度 農業委員会の許可及び承認件数

① 農地法第3条に基づく許可件数

(単位:件/a)

区分	売買	交換	賃貸借	使用貸借	贈与	一括贈与	競売・その他	計
件数	34	2	6	8	18	0	1	69
面積	1,281	23	493	974	443	0	46	3,260

② 農地法第4条に基づく許可件数

(単位:件/a)

区分	農家住宅	一般住宅	集団住宅	商業	農業用施設	資材置場	植林	その他	計
件数	0	0	2	0	1	0	1	7	11
面積	0	0	45	0	2	0	14	23	84

③ 農地法第5条に基づく許可件数

(単位:件/a)

区分	農家住宅	一般住宅	集団住宅	宅地分譲	商業	工業	農業用施設	資材置場	太陽光発電	その他	計
件数	1	35	5	7	9	1	0	5	11	12	86
面積	7	180	45	129	227	107	0	206	89	124	1,114

④ 非農地証明願 …… 41件 (合計面積 278a)

農業者年金に 加入しませんか

農業者年金の特徴とメリット

● 農業者の方なら広く加入できます。

《加入要件》

- ①年間60日以上農業に従事する方
- ②国民年金の第1号被保険者
(国民年金の保険料納付免除者を除く)
- ③60歳未満の方

● 少子高齢時代に強い積立方式・確定拠出型の年金です。

自ら積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決まる積立方式で、少子高齢社会でも非常に安定的な財政方式の年金です。

● 保険料は自由に決めることができます。

月額2万円から6万7千円までの間で千円単位で自由に決められ、いつでも見直せます。

● 終身年金です。80歳前に亡くなられた場合は、死亡一時金が遺族に支給されます。

● 税制面の優遇措置があります。

保険料は全額が社会保険料控除の対象で、支払われる年金にも公的年金等控除が適用されます。

● 一定の要件を満たす方は保険料の国庫補助が受けられます。

国庫補助を受けるには認定農業者で青色申告者等の一定の要件が必要です。

詳しくは、最寄りのJA窓口または
農業委員会事務局へお問い合わせください。

大田原市農地賃借料情報

平成31年1月から令和元年12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10aあたり)は、以下のとおりとなっております。

契約の参考とされますよう情報提供します。

(単位:円/10a)

地区	田				畑			
	筆数	平均額	最高額	最低額	筆数	平均額	最高額	最低額
大田原	56	13,200	16,100	10,000	0	0	0	0
金田北	203	15,200	20,500	5,000	5	16,900	20,000	13,400
金田南	202	15,800	23,600	5,000	9	8,900	18,000	3,000
親園	290	15,600	26,800	7,200	8	10,600	17,000	7,200
野崎	149	13,200	25,700	4,700	0	0	0	0
佐久山	152	12,600	20,000	5,000	4	7,500	10,000	5,000
湯津上	472	15,100	26,300	5,000	11	8,800	18,000	5,000
黒羽	115	12,200	18,000	5,000	1	4,800	4,800	4,800
川西	125	16,100	26,800	10,000	2	7,000	7,000	7,000
両郷	144	13,400	18,700	10,000	1	5,000	5,000	5,000
須賀川	69	8,300	13,400	3,400	0	0	0	0
市全体	1,977	14,400	26,800	3,400	41	9,700	20,000	3,000

※ 平均金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。

連載

よろしくお願ひしますか 第2回 森 瑞己さん(実取)

今回は親園地区実取にお住まいの「森瑞己(もりみずき)」さん(27歳)をご紹介します。

森家の長男として大切に育てられた瑞己さんは、現在父・母・祖母との生活をエンジョイしつつ、農業青年として地元で活躍しております。

趣味はアクアリウム&キャンプで、可愛い熱帯魚は農作業で疲れ切った心身の癒しになっているそうです。

森家は、いちご(主にスカイベリー)・玉ねぎ・米・麦・大豆を大規模に生産しています。今年度からは、就農して3年目となる瑞己さんが中心となって30アールの玉ねぎ生産に取り組み始めました。玉ねぎ生産を始めた理由については、「県や農業協同組合が玉ねぎ生産を推進していた。農業生産法人で修行していた際に学んだ露地栽培の経験が生かせるかもしれないと考えた。」と話しています。瑞己さんは、実家で就農する前に、農業生産法人で2年半勤務していました。外で働くことで、様々な経験ができて勉強になったが、地元に戻り、早く自分の農地に触れたいと感じていたそうです。

また、「玉ねぎは華やかなイメージはないものの、栄養や使い勝手のよさなど非常に魅力的な作物。生育も素直で、挑戦しがいがある。」と、玉ねぎへの思いを語る瑞己さんが印象的でした。現在は個人経営ですが、将来的には法人化も考えているそうです。

この地域には同世代の就農者が多くいることも思われているとも話してくれました。問題や疑問点があればすぐに相談できる仲間がいることも強みだそうです。

先輩農業者の方々へは、「若者があこがれるような、カッコイイ先輩であってほしい。楽しんで農業をやっている姿を後輩に見せてほしい。」との伝言を預かりました。

●これから就農する方へのメッセージ

自分のやり方次第で、農業は楽しめる。

みんなで大田原市を盛り上げていこう。

みんなで町おこしを楽しもう。

みんなで農業を楽しもう。

●両親からのエール

《人との繋がりを大切にして、視野を広げ魅力ある農業を展開してください。活躍を期待しております。》

(農業委員・相馬)



森 瑞己さん

簡単! 冷製玉ねぎ丸ごと煮込み

※コンソメスープの素を使用して、ベーコン・トマトと共に煮ると洋風になります。
冷たくせず、温かいままでもおいしいですよ!

材料(約3人分)

- 玉ねぎ 小さめ6~9個
- 昆布だし汁 適量
(玉ねぎが隠れるくらい、かつおだしでも可)
- にんじん 1/3本
(飾りにんじんが6ヶできるくらい)
- うす口しょうゆ 少々(お好みで)
- 塩 少々(お好みで)
- 木の芽(飾り用、青菜でも可)

作り方

- ① 昆布だし汁に玉ねぎ・飾り切りしたにんじんを入れて弱火でコトコト煮込みます。
(玉ねぎのヘタ部分は煮崩れ防止のため、えぐり取らないようにしましょう。)
- ② 玉ねぎが柔らかくなったら、うす口しょうゆ少々、塩少々を加え味を調えます。
(黒コショウを入れてもおいしいです。)
- ③ 冷蔵庫で冷やします。
- ④ 器に玉ねぎ・にんじんを盛り付けて、木の芽添えて出来上がり。
(木の芽ではなく、青菜でも見た目がきれいです。)



○編集 農業委員会だより編集委員会
○編集委員長 助川 悦夫
副編集委員長 阿見 芳
編集委員 符沼 保治
編集委員 屋代 幸子
編集委員 秋本 則夫
編集委員 相馬 隆和
編集委員 高瀬 至
編集委員 越沼 良

農業委員会事務局
☎ 23-8716